

## 実証事業の概要について

### 1. 実証の目的

風力や太陽光などの再生可能エネルギーが電力系統に与える影響など（電圧変動など）を踏まえ、V2Gを活用した電力需給バランス調整機能としての実現可能性を検証する。

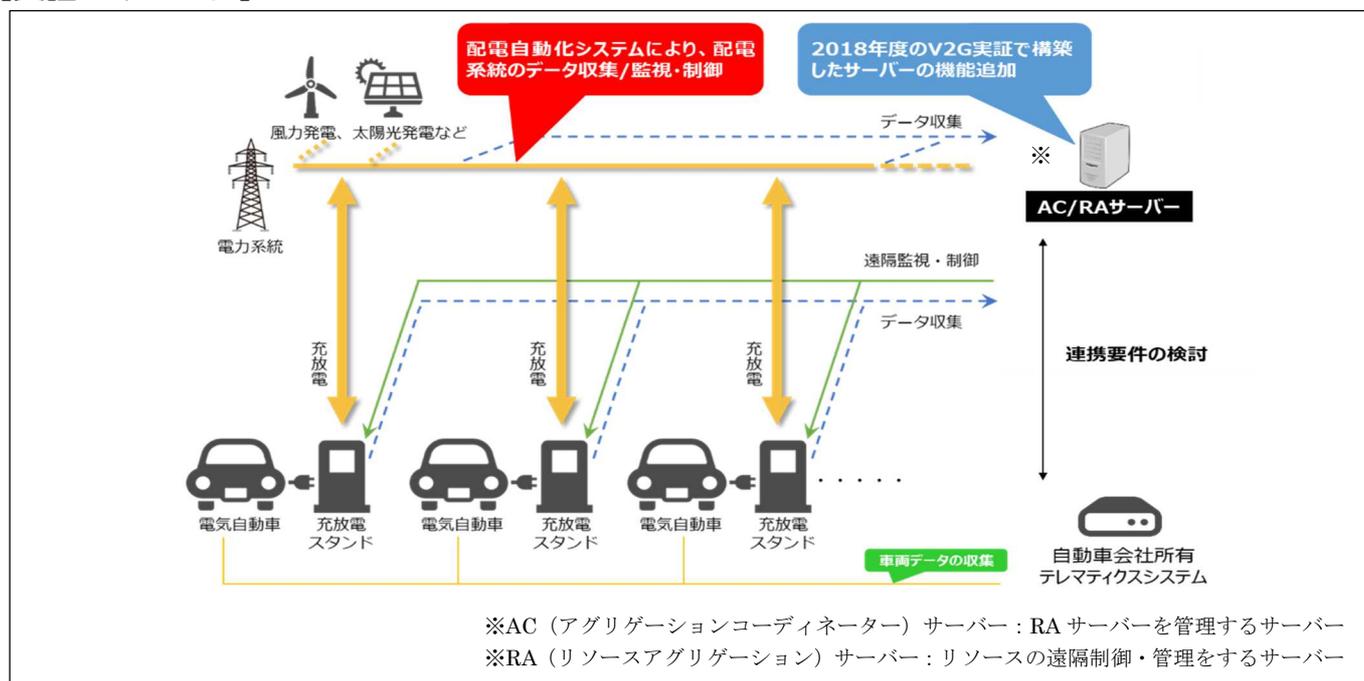
### 2. 実証の内容

- ① 充放電スタンドを介して、電気自動車の蓄電池の遠隔監視や制御を行うシステム（2018年度の実証事業にて開発）を用いて、複数の実証個所に設置された蓄電池を同時制御し、電力需給バランスの調整力として求められる動作の正確性（指示通りに動作するか）を検証
- ② 配電自動化システム※を用いたシミュレーションにより、当社配電系統のうちV2Gを活用できる系統の割合を把握
- ③ ①の技術実証や、②のシミュレーション結果を踏まえつつ、新たなビジネスモデルの構築に向けた検討を行う

なお、実証は、様々なビジネスパートナーと連携して取り組むこととしており、現在、具体的な実証内容や役割分担などを検討中。

※ 配電系統の監視制御、停電区間の縮小、配電系統運用のシミュレーションなどの機能を有するシステム

### 【実証のイメージ】



### 3. 実証場所

2018年度実証試験実施場所である仙台ロイヤルパークホテルに加え、仙台市内他の複数個所で実証（具体的な実証場所について、現在検討中）

### 4. 実証期間

2019年5月30日から2020年2月21日まで

以上